

令和4年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会 (第1回) 配付資料

	ページ
開催要項-----	1
設置要綱-----	2
委員名簿-----	3
資料1：令和4年度公立高等学校入学者選抜の結果について-----	4
資料2：令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜における調査書の評定に 係る調査結果の概要-----	5
資料3：令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する 主な意見等について-----	7
資料4：「千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査」の 結果について-----	8
資料5：令和5年度千葉県県立高等学校入学者選抜の日程-----	17
資料6：令和4年度千葉県県立高等学校入学者選抜の選抜方法について--	19
資料7：令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法-----	21
資料8：令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）-----	29

※別配付資料

- 1 令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜学力検査結果の概要
- 2 令和5年度千葉県県立高等学校第1学年入学者選抜要項

令和4年7月19日（火）
千葉県庁企画管理部会議室

令和4年度 千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会（第1回）
開 催 要 項

- 1 日 時 令和4年7月19日（火）
午前10時から正午まで
- 2 会 場 千葉県庁企画管理部会議室（中庁舎9階）
- 3 次 第
 - (1) 開会のことば
 - (2) 県教育委員会あいさつ
 - (3) 委員紹介
 - (4) 会長、副会長選出
 - (5) 報告
 - ① 令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜について
 - ア 結果について（資料1・別配付資料1）
 - イ 調査書の評定について（資料2）
 - ウ 中学校及び高等学校からの意見について（資料3）
 - ② 令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜について
 - ア 入試日程について（資料5）
 - イ 令和5年度千葉県県立高等学校第1学年入学者選抜要項について（別配付資料2）
 - ウ 選抜方法等について（資料6・7）
 - ③ その他
 - (6) 協議
 - ① 「令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査」の結果について（資料4）
 - ② 現行の千葉県公立高等学校入学者選抜の課題について
 - ③ 令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程について（資料8）
 - ④ その他
 - (7) 閉会のことば

千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会設置要綱

(設置)

- 第1 本県の公立高等学校入学者選抜に関し、幅広く関係者の意見を聴取するため、「千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

(組織)

- 第2 協議会は、14名の委員をもって構成する。
- 2 委員の構成は次のとおりとする。
- | | | | |
|---------|----|----------|----|
| 大学関係者 | 2名 | 公立高等学校代表 | 2名 |
| 公立中学校代表 | 2名 | 公立小学校代表 | 1名 |
| 私立学校代表 | 1名 | 市町村教育長 | 2名 |
| P T A代表 | 2名 | 政令市教育長 | 1名 |
| 企業関係者等 | 1名 | | |
- 3 協議会には会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

(委員の任期)

- 第3 委員の任期は1年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(専門委員会)

- 第4 協議会は、より具体的な意見を集める等の必要があるときは、専門委員会を置くことができる。
- 2 専門委員会の構成及び人数は協議会で決定する。

(庶務)

- 第5 協議会及び専門委員会に関する庶務は、千葉県教育庁教育振興部学習指導課において処理する。

(補足)

- 第6 この要綱に定めるもののほか、本協議会の運営に関し必要な事項は会長が定める。
- 2 協議会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づいた法律又は条例により設置された附属機関ではない。

附則

(施行期日)

- 1 この要綱は令和4年6月1日から施行する。
- 2 令和4年度の委員の任期は令和5年3月31日までとする。

令和4年度千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会 委員名簿

No.	氏名	職名	新規 継続	備考
1	佐藤 智司	千葉大学 副学長	継続	大学関係者
2	谷口 和巳	淑徳大学 千葉キャンパス アドミッションセンター 千葉オフィス室長代理	新規	大学関係者
3	永島 克彦	千葉県商工会議所連合会 専務理事	新規	企業関係者
4	篠木 賢正	千葉県立東葛飾高等学校長 (千葉県高等学校校長会 会長)	新規	高等学校校長会 会長
5	本宮 照久	千葉県立佐原高等学校長 (千葉県高等学校校長会 高校入試対策委員長)	新規	高校入試対策委員長
6	櫻井 比呂樹	四街道市立四街道中学校長 (千葉県中学校長会 会長)	新規	中学校長会 会長
7	三浦 明久	印西市立木刈中学校長 (千葉県中学校長会 進路指導部長)	継続	進路指導部長
8	山下 秋一郎	富津市立青堀小学校長 (千葉県小学校長会 会長)	新規	小学校校長会 会長
9	佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校長	継続	私立学校代表
10	小熊 隆	習志野市教育委員会教育長	継続	市教育長
11	石川 和之	長柄町教育委員会教育長	新規	町村教育長
12	磯野 和美	千葉市教育委員会教育長	継続	政令市教育長
13	武藤 弘晃	千葉県高等学校PTA連合会 会長	新規	PTA代表
14	濱詰 大介	千葉県PTA連絡協議会 会長	継続	PTA代表

令和4年5月18日
教育振興部学習指導課

1 全日制の課程及び定時制の課程の募集定員、入学許可候補者数等

				令和4年度		令和3年度	
				全日制	定時制	計	計
募集定員		全日制		31,480		31,080	
		定時制		1,440		1,260	
		計		32,920		32,340	
本検査 追及 及び 検査 本検査 (2/24・25) 追検査 (3/3)	募集人員	全日制		31,320		30,920	
		定時制		1,317		1,232	
		計		32,637		32,152	
	志願者数	全日制		34,637		33,517	
		定時制		801		706	
		計		35,438		34,223	
	受検者数	全日制		34,438		33,328	
		定時制		788		692	
		計		35,226		34,020	
	入学許可 候補者数	全日制		29,010		28,988	
		定時制		753		659	
		計		29,763		29,647	
第 2 次 募 集 (3/15)	募集人員	全日制		2,312		1,937	
		定時制		564		573	
		計		2,876		2,510	
	志願者数	全日制		225		194	
		定時制		45		34	
		計		270		228	
	受検者数	全日制		222		192	
		定時制		43		33	
		計		265		225	
	入学許可 候補者数	全日制		215		179	
		定時制		43		26	
		計		258		205	
特例検査 (3/22)	志願者数	全日制		12		1	
		定時制		0		0	
	受検者数	全日制		12		1	
		定時制		0		0	
	入学許可 候補者数	全日制		12		1	
		定時制		0		0	
追加募集	募集人員	定時制		521		547	
	志願者数			7		8	
	受検者数			6		8	
	入学許可 候補者数			6		4	
入学許可候補者数合計		全日制		29,237		29,168	
		定時制		802		689	
		計		30,039		29,857	

*1 全日制の「募集人員」は募集定員から県立千葉中学校及び県立東葛飾中学校からの進学者を減じた人数である。
*2 定時制の「募集人員」は募集定員から三部制の定時制の転入学等の予定人員及び秋季入学者選抜の募集人員を減じた人数である。

2 通信制の課程(千葉大宮高等学校)の募集定員、入学許可候補者数等

		令和4年度			令和3年度			
		一期	二期	三期	一期	二期	三期	四期
募集人員		225	161	309	225	174	329	367
志願者数		133	15	19	105	19	12	11
受検者数		130	12	17	102	19	12	11
入学許可候補者数		129	12	17	102	19	12	11
合計	募集定員(収容できる最大数)	500			500			
	志願者数	167			147			
	受検者数	159			144			
	入学許可候補者数	158 (1~3期)			144 (1~4期)			

*3 令和4年度の四期入学者選抜は、令和4年9月6日に実施する。

令和 4 年度千葉県公立高等学校入学者選抜における 調査書の評定に係る調査結果の概要

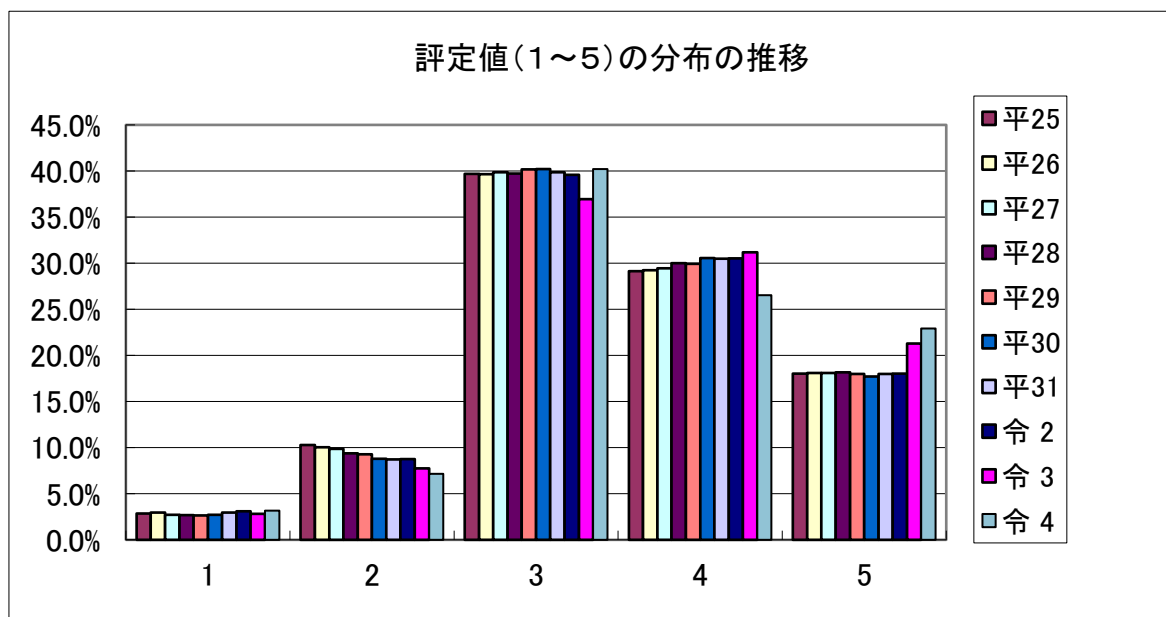
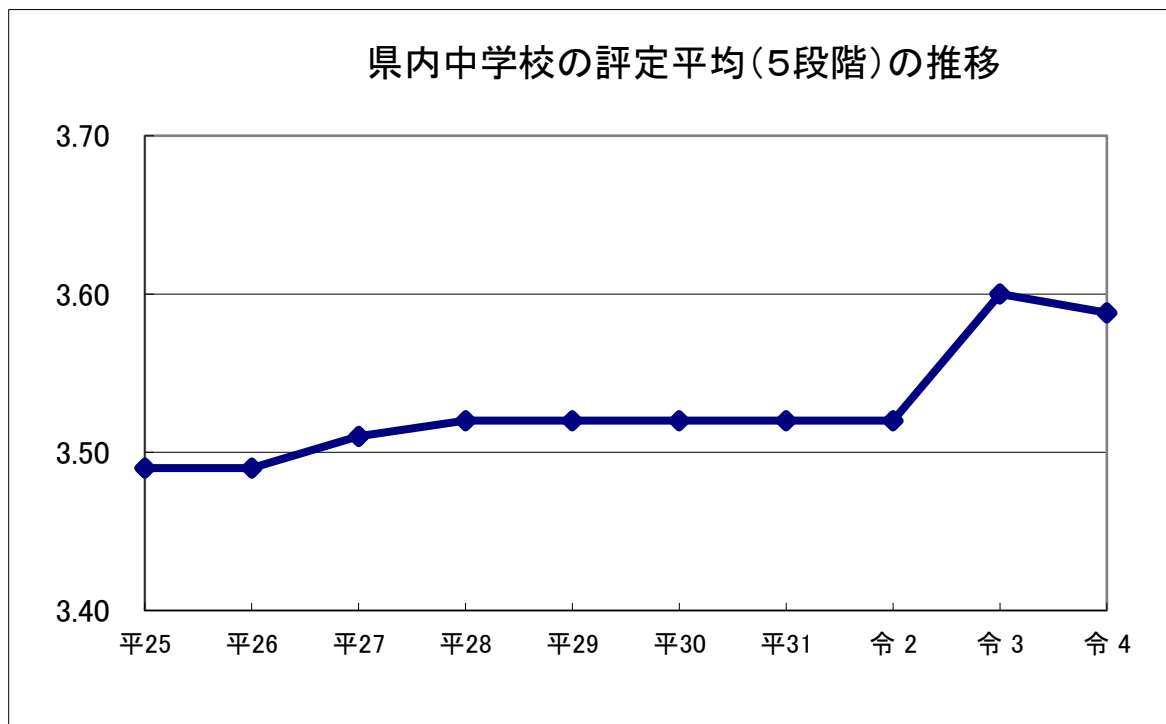
- 1 調査対象 県内公立中学校及び義務教育学校（365校）から県教育委員会に提出された学習成績分布表
- 2 調査内容 令和4年3月卒業見込み者の第3学年12月末日における調査書の評定の分布
- 3 調査教科 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語の9教科
- 4 調査結果 段階別の割合（%）

評 定 教 科	5	4	3	2	1
国 語	21.2	23.8	43.3	8.8	3.0
社 会	27.3	23.3	36.8	9.3	3.2
数 学	24.2	24.3	35.6	12.6	3.3
理 科	24.2	23.8	39.7	9.1	3.2
音 楽	22.2	30.4	41.0	3.1	3.3
美 術	20.8	32.2	40.9	2.9	3.1
保 健 体 育	21.4	30.9	41.4	3.1	3.3
技 術 ・ 家 庭	20.0	30.1	43.3	3.5	3.0
外 国 語	25.0	19.8	39.8	12.1	3.2

入学者選抜における調査書の評定(過去10年間の推移)

	1	2	3	4	5	平均
平25	2.9%	10.3%	39.7%	29.1%	18.0%	3.49
平26	3.0%	10.1%	39.7%	29.2%	18.1%	3.49
平27	2.7%	9.9%	39.9%	29.4%	18.1%	3.51
平28	2.7%	9.4%	39.7%	30.0%	18.2%	3.52
平29	2.6%	9.3%	40.2%	29.9%	18.0%	3.52
平30	2.7%	8.8%	40.2%	30.6%	17.7%	3.52
平31	3.0%	8.7%	39.9%	30.5%	18.0%	3.52
令 2	3.1%	8.8%	39.6%	30.5%	18.0%	3.52
令 3	2.8%	7.8%	37.0%	31.2%	21.3%	3.60
令 4	3.2%	7.2%	40.2%	26.5%	22.9%	3.59

★ 令和3年度から算式廃止



令和4年度入学者選抜についての主な意見等について

(中)：中学校の意見 (高)：高等学校の意見

	意見等	対応	
令和5年度の入学者選抜で改善するもの	(中) ウェブページでの入学許可候補者発表をスムーズに見られるようにしてほしい。 (高) ウェブページへの入学許可候補者掲載をスムーズに行えるようにしてほしい。	令和5年度入学者選抜においても、昨年度と同様に、入学許可候補者の発表を午前9時に各学校において掲示と併せてウェブページでも行う予定であるが、今年度は、①発表前一定時間、外部アクセスを止め、各学校が確実にデータの掲載、確認ができるようにし、②実施要項説明会、受検生への配付物、県教育委員会及び各学校ウェブページで、「午前9時前の一定時間、発表準備のため学校ウェブページへの外部アクセスを停止すること」や、「午前9時にアクセスが多くなりつながりにくくなることが想定される」等の呼びかけを行うなど、検討していきます。	
	(中) 県収入証紙を使用せずに済む出願（Web出願）にしてほしい。	令和5年度入学者選抜では、県立高校2校で実施することになりました。（予定）	
	(中) 外国人生徒を受け入れてくれる学校を増やしてほしい。	令和5年度入学者選抜では、昨年度までの外国人特別入学者選抜実施校に加え、新たに定時制の課程11校での受検が可能になりました。（予定）	
	(中) (高) 検査日前日が土日祝日になる日程は避けてほしい。	令和5年度入学者選抜は、本検査1日目2月21日(火)、2日目2月22日(水)の後が、23日(木)天皇誕生日となり、土日祝日の前に検査を行います。	
	(高) 感染症の状況に左右されることなく、検査当日の時間を始めから昨年度の変更後の形にしてほしい。	令和5年度入学者選抜においては昨年度変更後の時間で実施することになりました。（予定）	
入学者選抜制度等に係るもの（上記以外）	(高) 卒業式等学年末行事、大学入試と重ならないようにするため、全体の日程を早めてほしい。 (高) 郵送出願も含め、出願期間が長すぎる。 (高) 志願・希望変更締切から本検査までの期間をもう少し長くしてほしい。 (高) 2日目の日程が厳しい。できれば、1日目に5教科の学力検査、2日目に学校設定検査にしてほしい。	各中学校、高等学校から出された意見をまとめたものを、令和3年度まで入学者選抜改善協議会にて協議しておりました。令和4年度から新たに設置された千葉県公立高等学校入学者選抜に関する協議会にて報告し、協議の資料としています。同協議会の意見等を踏まえながら、今後の入学者選抜制度がより良いものとなるよう、検討していきます。	
	(高) 学校設定検査を実施しないという選択肢も考えてほしい。		
	(高) マークシート方式も導入して、採点業務の負担を軽減してほしい。		
	(高) 解答用紙が机に対して大きすぎるので、A4またはB4にしてほしい。		
	(高) 英語の学力検査時間を、外国人、成人の特別入学者の検査時間と重ならないようにしてほしい。		
	(中) (高) 郵送による出願を継続してほしい。できれば郵送のみにしてほしい。		
	(中) 調査書の特別活動や部活動の記録は、記載する対象となる事項が多い。書くべき項目を明確にしてほしい。 (高) 中学校によって調査書の記入の仕方や表現等が異なり分かりづらい。記載方法について統一したルールが必要である。		平成27年4月21日付け教指第156号教特第73号「指導要録及び調査書等の進学等の進学等に関する書籍の作成、点検、管理及び保存等について（通知）」において、調査書の特記事項の記載内容のルール化を、各市町村教育委員会にお願しています。
	(中) 調査書の「行動の記録」や「皆勤」について、加点対象にしないのであれば、記入欄を削除してほしい。		令和4年5月20日付け総教セ第178号「令和5年度千葉県公立高等学校入学者選抜における選抜・評価方法について（通知）」の別添「『選抜・評価方法』の作成上の留意点」において、「出欠の記録において、原則として『皆勤』は加点の対象としないものとする。」、「行動の記録において、『○』についての加点はしないこと。また、『○』の数を審議の対象とすることはできるが、総合的に判定することはできないものとする。」となっています。加点はしないが、審議の対象としている場合もあるため、今年度は削除しません。
(高) 新型コロナウイルス感染症対策については、早めの通知をお願いしたい。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、適切に対応していきます。		

「千葉県公立高等学校入学者選抜の受検に係る調査」の結果について

千葉県教育庁教育振興部学習指導課

1 調査対象（マイクロソフトフォームズでアンケートを実施）

(1) 県内公立中学校長

ア 依頼	365名	
イ 回答	272名	(回答率74.5%)

(2) 県内県立高等学校長

ア 依頼	128名	
イ 回答	128名	(回答率100%)

(3) 県内公立高校1年生生徒

ア 依頼	4,975名	(128校)
イ 回答	3,790名	(回答率76.2%)

(4) 県内公立高校1年生保護者

ア 依頼	4,974名	(128校)
イ 回答	2,622名	(回答率52.7%)

(5) 県内私立高等学校長

ア 依頼	54名	
イ 回答	49名	(回答率90.7%)

(6) 県内私立高校1年生生徒

ア 依頼	3,080名	(54校)
イ 回答	1,405名	(回答率45.6%)

(7) 県内私立高校1年生保護者

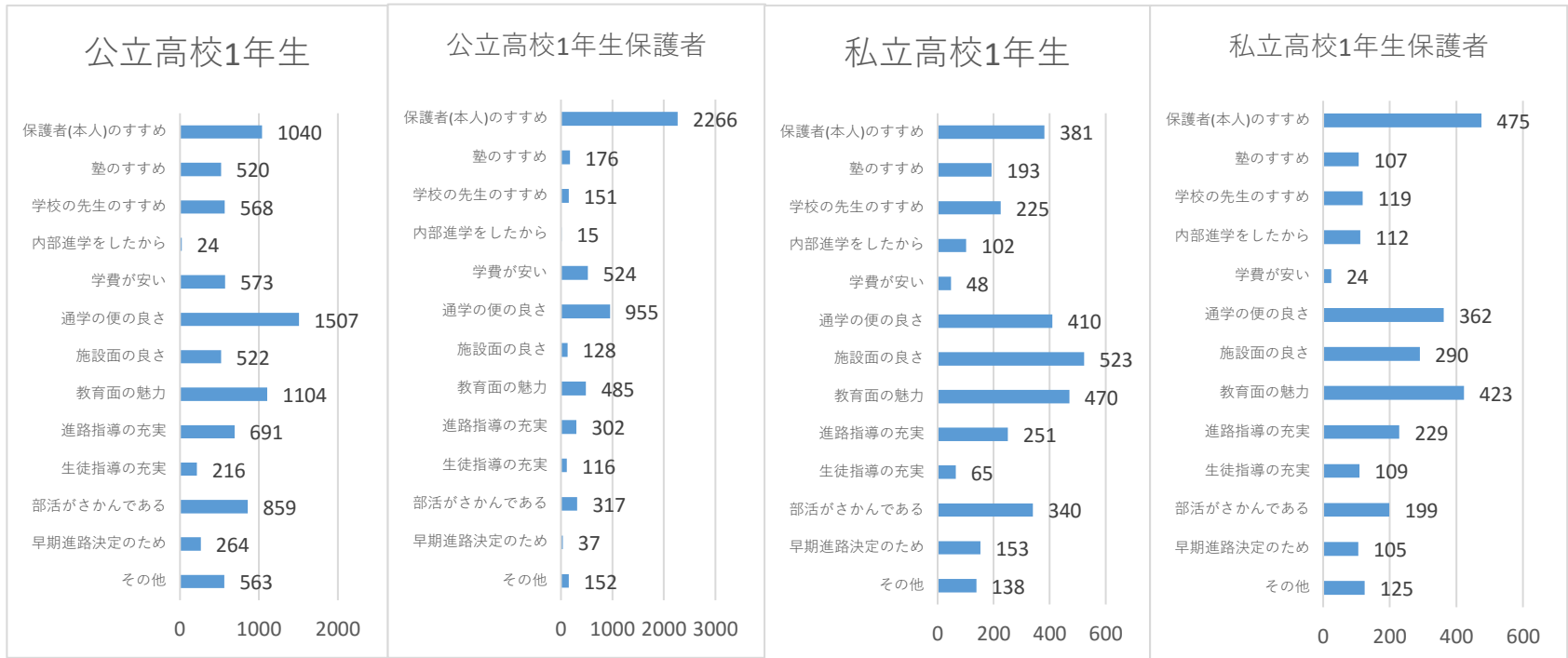
ア 依頼	3,089名	
イ 回答	1,105名	(回答率35.8%)

2 実施時期

令和4年6月上旬から令和4年6月中旬まで
集計は、令和4年7月14日現在

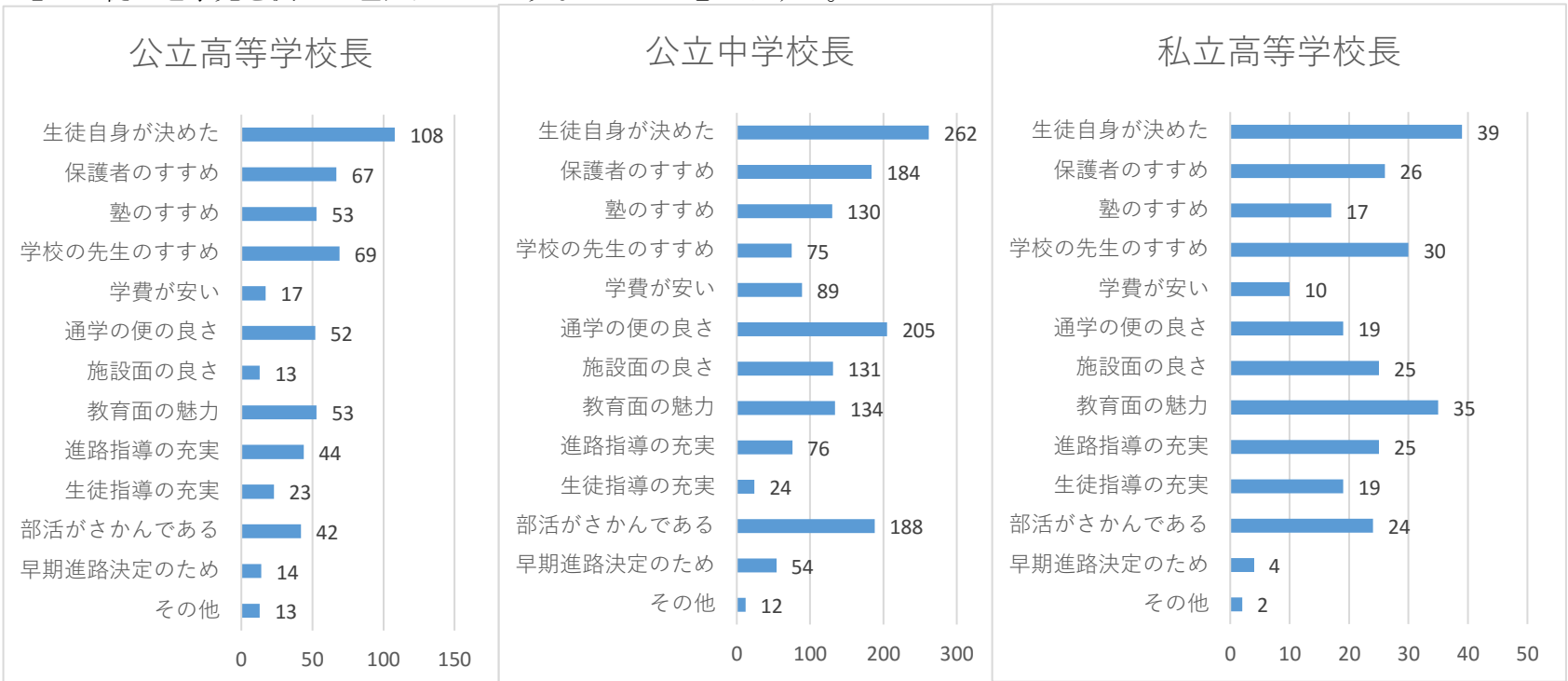
※割合については、分母に無答数を含みません。

1 進学先を決めた理由はどのようなことですか。



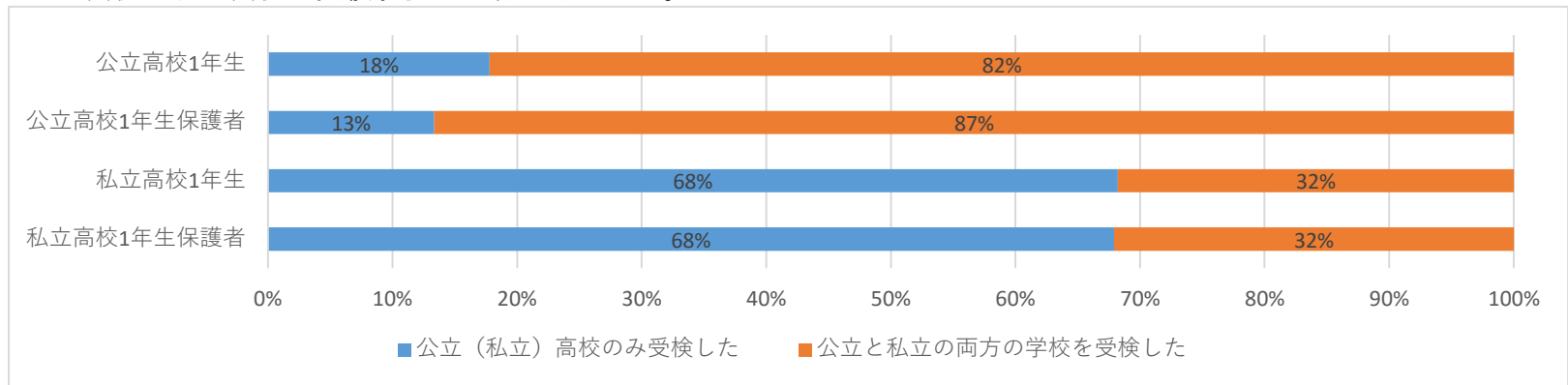
	公立高校1年生	公立高校1年生保護者	私立高校1年生	私立高校1年生保護者
保護者(本人)のすすめ	1040	2266	381	475
塾のすすめ	520	176	193	107
学校の先生のすすめ	568	151	225	119
内部進学をしたから	24	15	102	112
学費が安い	573	524	48	24
通学の便の良さ	1507	955	410	362
施設面の良さ	522	128	523	290
教育面の魅力	1104	485	470	423
進路指導の充実	691	302	251	229
生徒指導の充実	216	116	65	109
部活がさかんである	859	317	340	199
早期進路決定のため	264	37	153	105
その他	563	152	138	125

2 生徒が進学先を決めた理由はどのようなことだと思いますか。



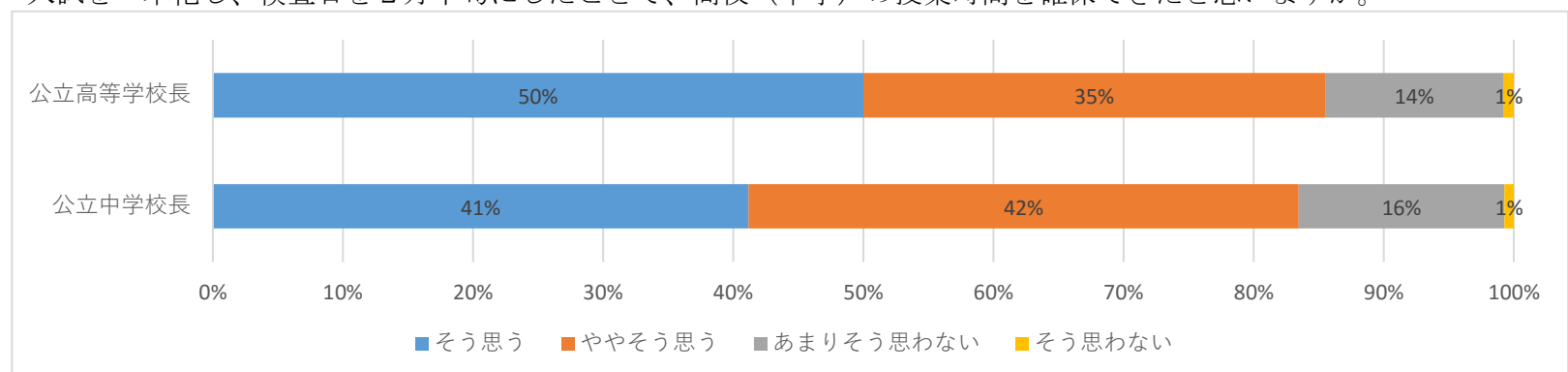
	公立高等学校長	公立中学校長	私立高等学校長
生徒自身が決めた	108	262	39
保護者のすすめ	67	184	26
塾のすすめ	53	130	17
学校の先生のすすめ	69	75	30
学費が安い	17	89	10
通学の便の良さ	52	205	19
施設面の良さ	13	131	25
教育面の魅力	53	134	35
進路指導の充実	44	76	25
生徒指導の充実	23	24	19
部活がさかんである	42	188	24
早期進路決定のため	14	54	4
その他	13	12	2

3 公立高校と私立高校の受検状況をお答えください。



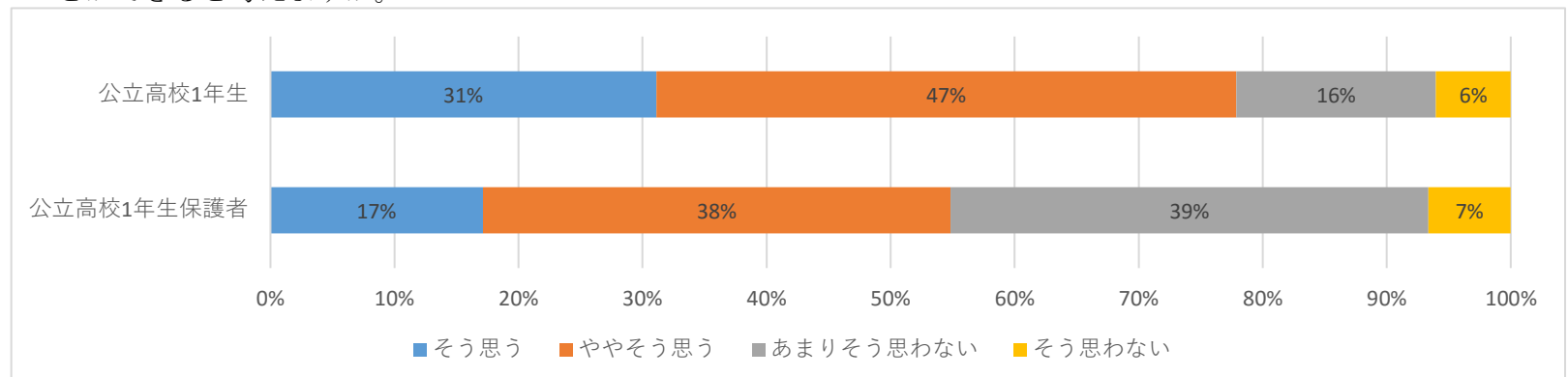
	公立（私立）高校のみ受検した	公立と私立の両方の学校を受検した
公立高校1年生	671	3098
公立高校1年生保護者	347	2254
私立高校1年生	955	445
私立高校1年生保護者	749	354

4 入試を一本化し、検査日を2月下旬にしたことで、高校（中学）の授業時間を確保できたと思いますか。



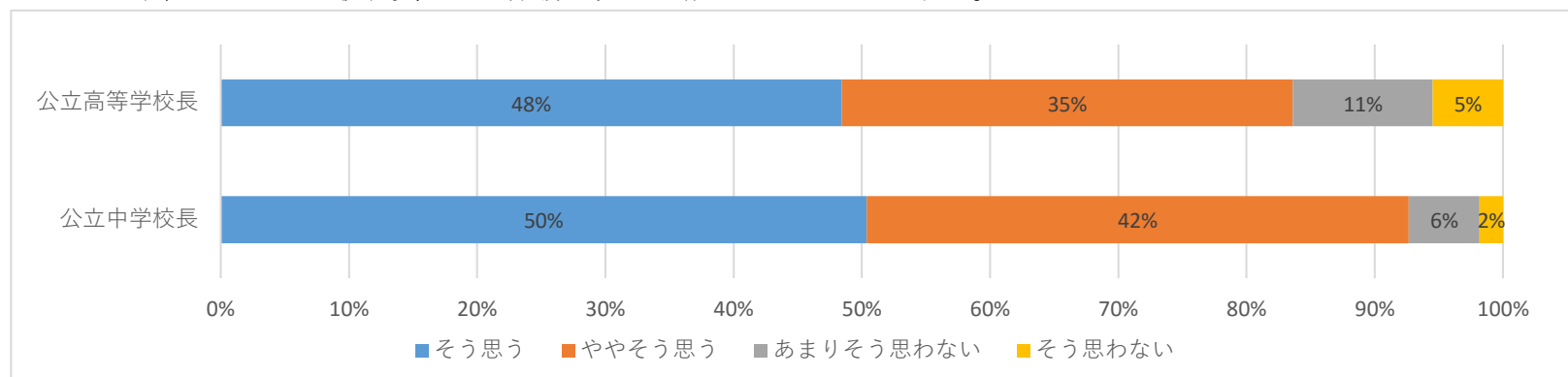
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	62	44	17	1
公立中学校長	112	115	43	2

5 受検機会を1回とし検査日を遅くしたところで、中学3年生の授業を3学期の最後までしっかりと取り組むことができると思いますか。



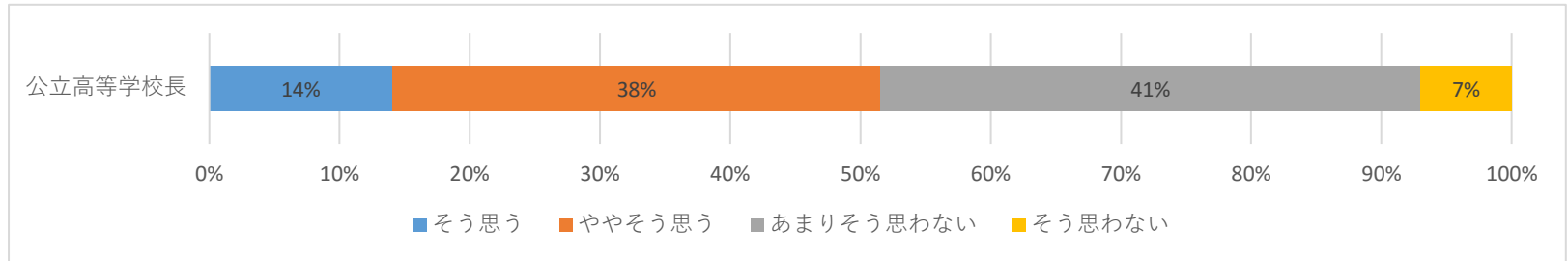
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高校1年生	1172	1762	607	227
公立高校1年生保護者	444	977	998	172

6 入試を一本化したことで教職員の入試業務の負担が減少したと思いますか。



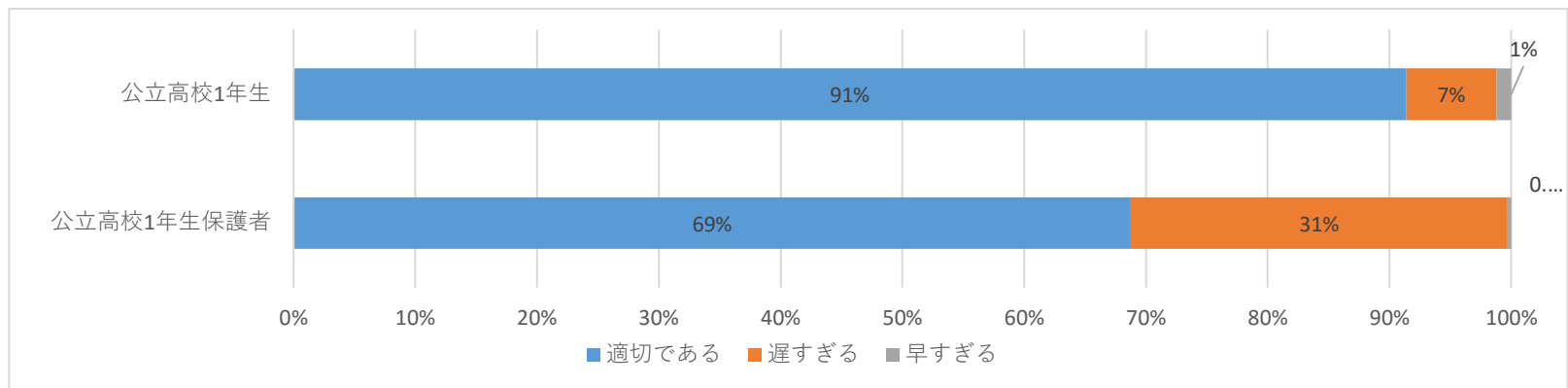
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	62	45	14	7
公立中学校長	137	115	15	5

7 入試を一本化したことより、目的意識を持った生徒が受検したと思いますか。



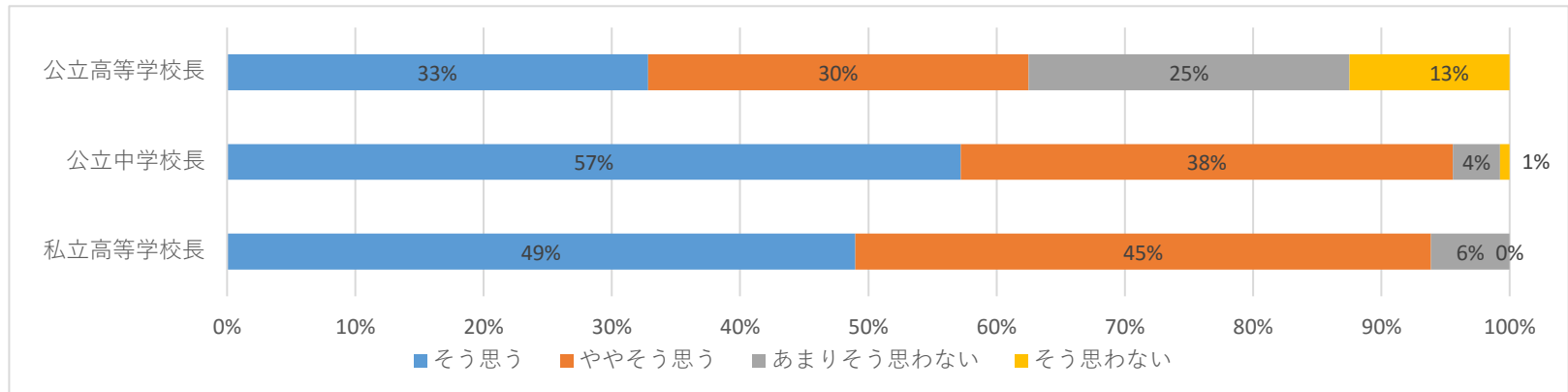
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	18	48	53	9

8 公立高校の本検査の実施日（令和4年2月24日・25日）は適切ですか。



	適切である	遅すぎる	早すぎる
公立高校1年生	3447	280	46
公立高校1年生保護者	1794	807	8

9 本検査の実施日は2月下旬で適切であったと思いますか。（学校長）



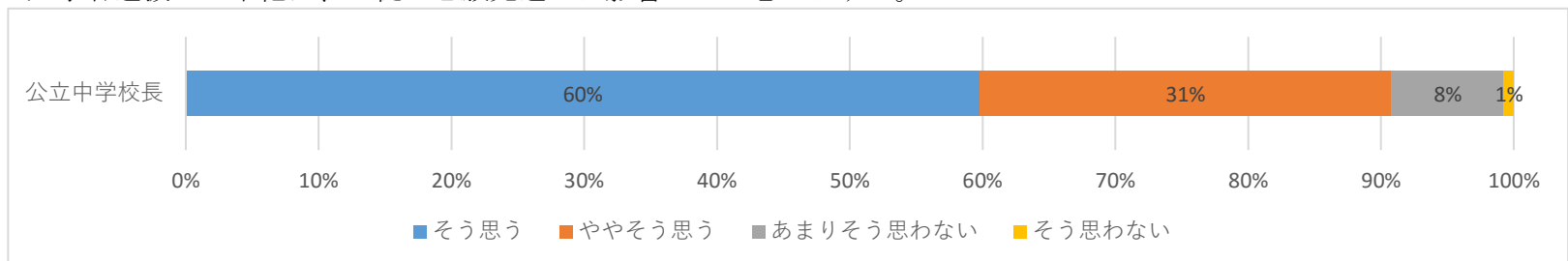
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	42	38	32	16
公立中学校長	155	104	10	2
私立高等学校長	24	22	3	0

9-2 9で「あまりそう思わない」または「そう思わない」と回答した方は、時期と理由を記入してください。

※同様の回答が多数あげられた内容を掲載

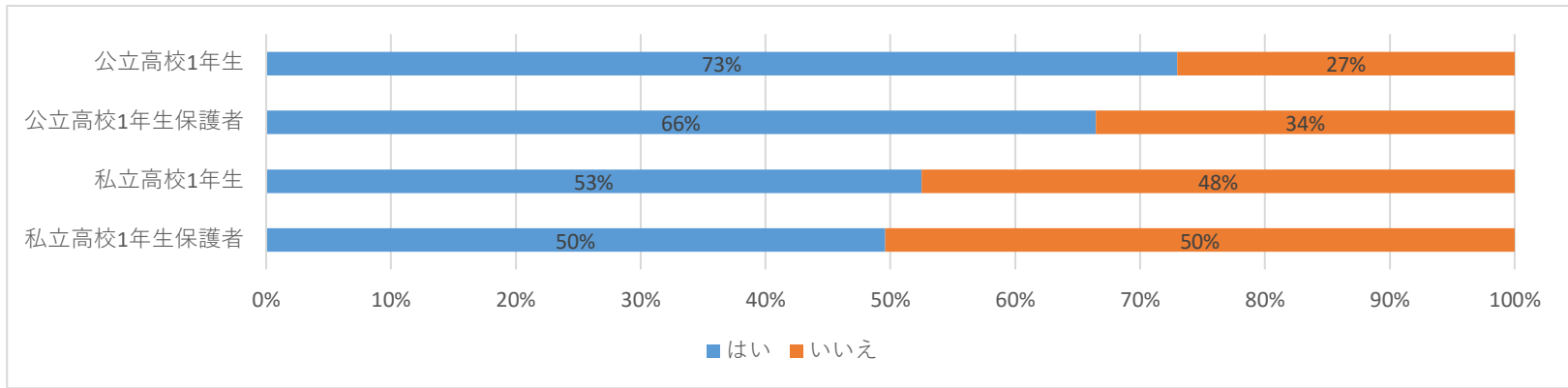
	主な理由
2月上旬～中旬 (回答数のうち 76.9%)	進路先を早く決めたい受検生にとって2月下旬の本検査までの期間が長い。 早く進路決定したいという思いの中学生が公立を受検しない。 私学の発表から間が空きすぎているため、多くの中学生の集中力や気力がもたない。 発表、追検査の時期が卒業式と重なる。

10 入学者選抜の一本化は、生徒の志願先選びに影響したと思いますか。



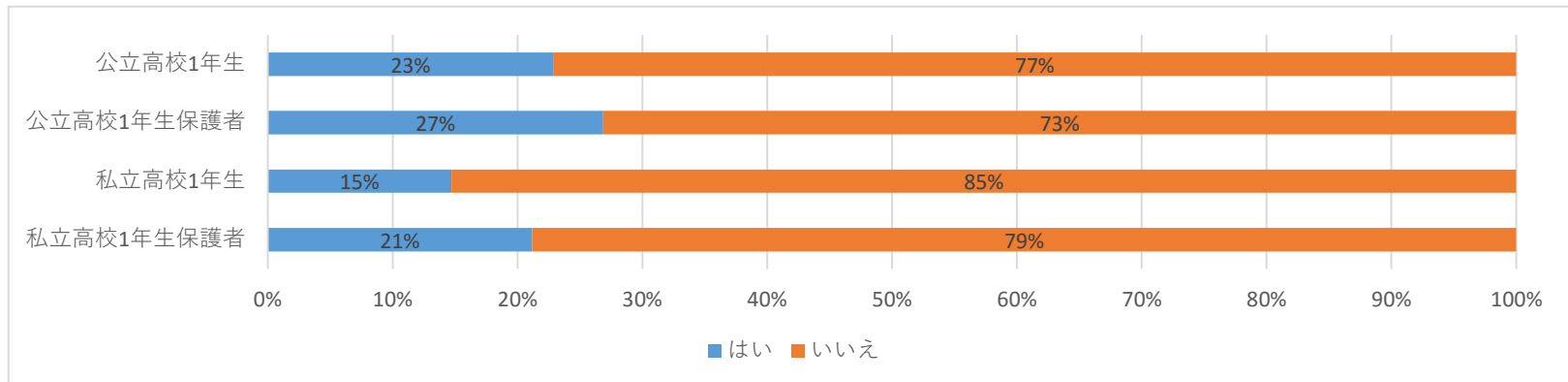
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立中学校長	162	84	23	2

11 令和3年度入学者選抜から公立高校の入試制度が変わったことについて、不安はありましたか。



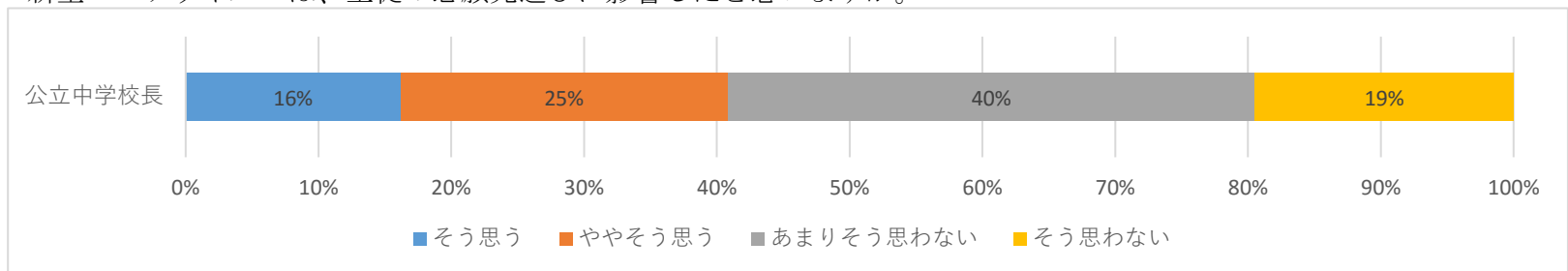
	はい	いいえ
公立高校1年生	2754	1019
公立高校1年生保護者	1733	875
私立高校1年生	735	665
私立高校1年生保護者	542	551

12 公立高校の入試制度の変更は受検する高校の選択に影響したと思いますか。



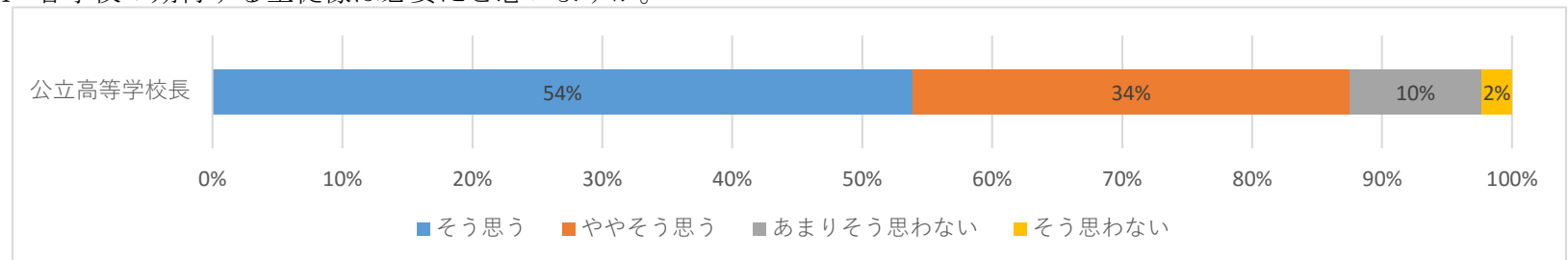
	はい	いいえ
公立高校1年生	859	2897
公立高校1年生保護者	699	1902
私立高校1年生	205	1187
私立高校1年生保護者	231	860

13 新型コロナウイルスは、生徒の志願先選びに影響したと思いますか。



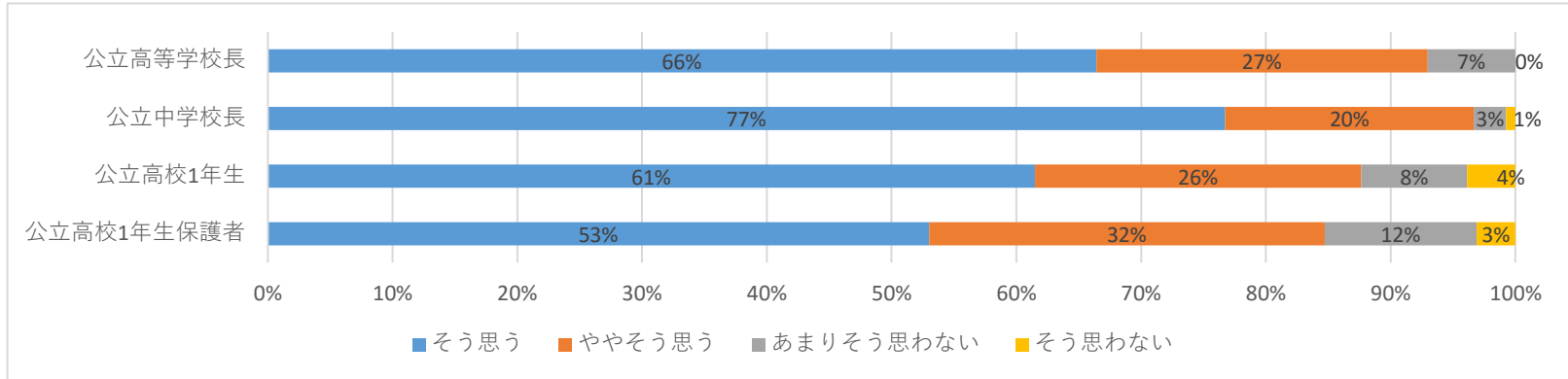
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立中学校長	44	67	108	53

14 各学校の期待する生徒像は必要だと思いますか。



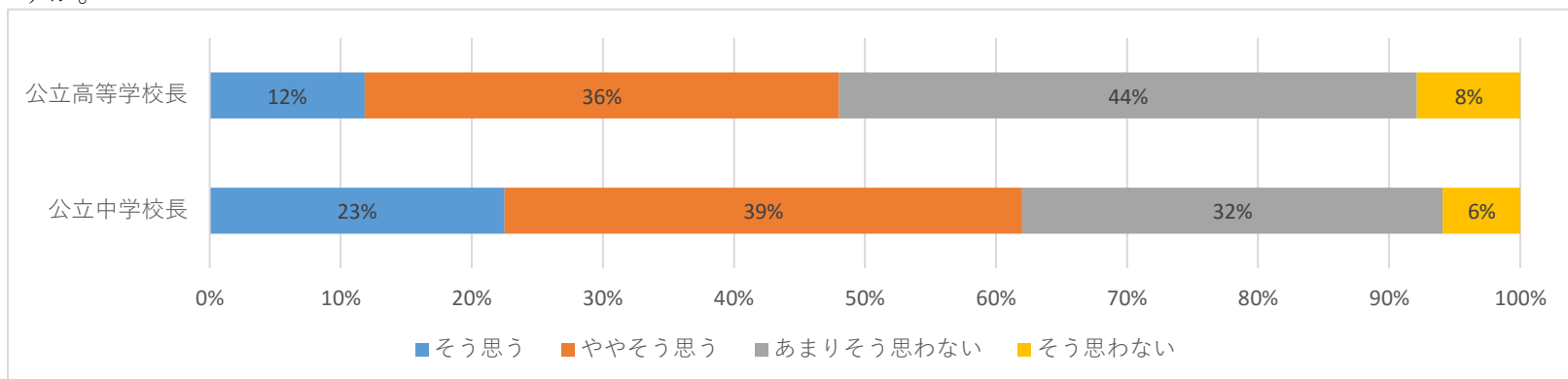
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	69	43	13	3

15 本検査の5教科を2日間で実施したことは、受検者の負担と考えると適切であったと思うか。



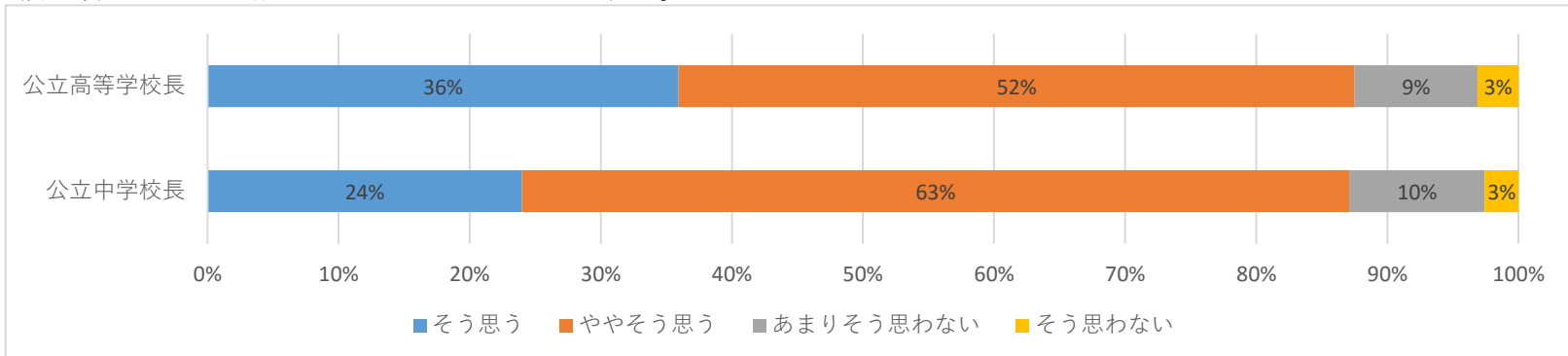
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	85	34	9	0
公立中学校長	208	54	7	2
公立高校1年生	2321	988	320	146
公立高校1年生保護者	1384	828	318	81

16 県が定める評定合計の標準値（95）を廃止したことは、入学者の選抜方法に良い影響を与えたと思いますか。



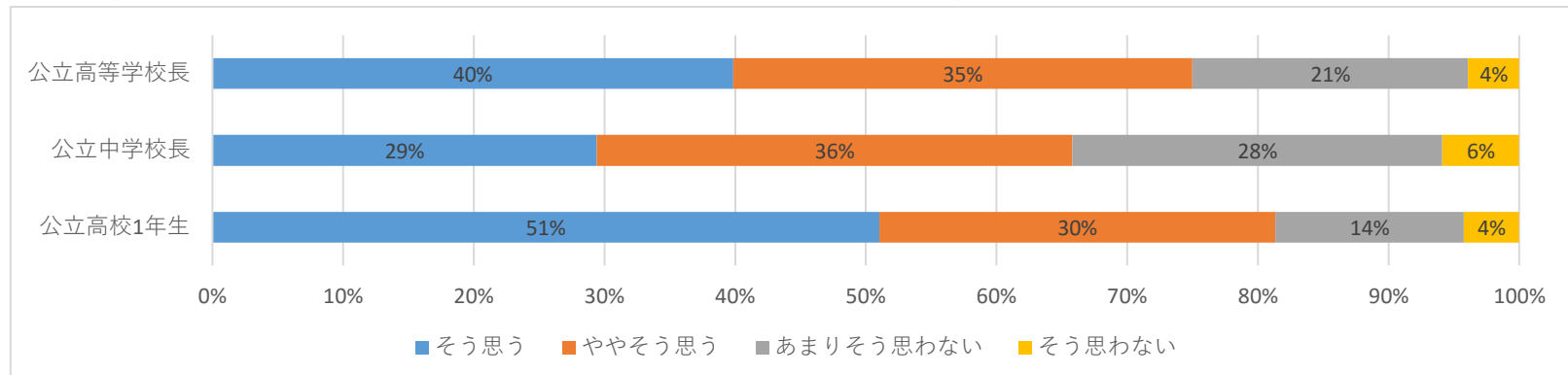
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	15	46	56	10
公立中学校長	61	107	87	16

17 調査書の加点の上限50点は適切だと思いますか。



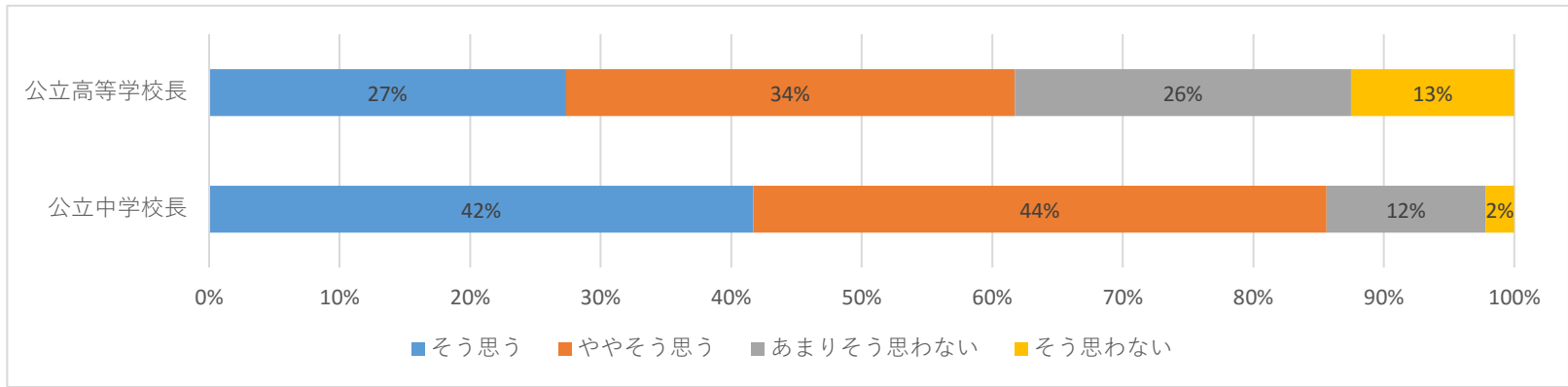
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	46	66	12	4
公立中学校長	65	171	28	7

18 英語の検査時間を60分としていることは、英語の学力を測るうえで必要だと思いますか。（校長）
英語の検査時間が50分から60分に変更されたことで、落ち着いて受検できましたか。（公立高校1年生）



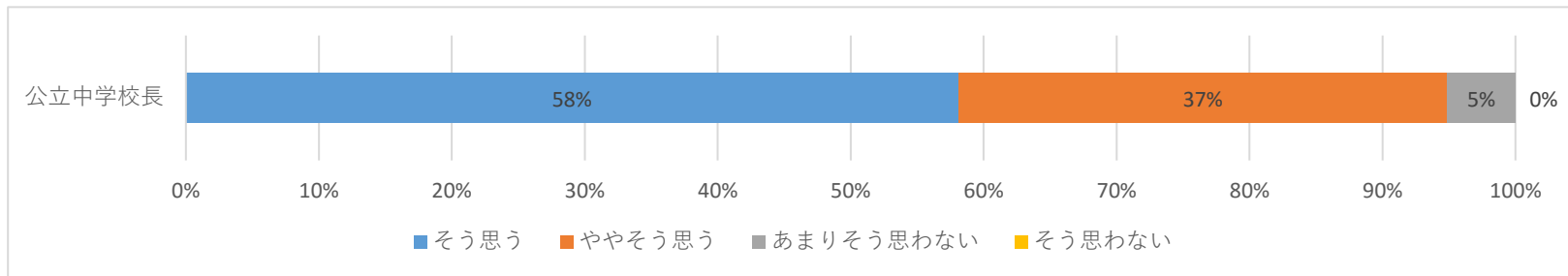
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	51	45	27	5
公立中学校長	80	99	77	16
公立高校1年生	1926	1144	544	160

19 国語の聞き取り検査は、国語の学力を測るうえで必要だと思いますか。



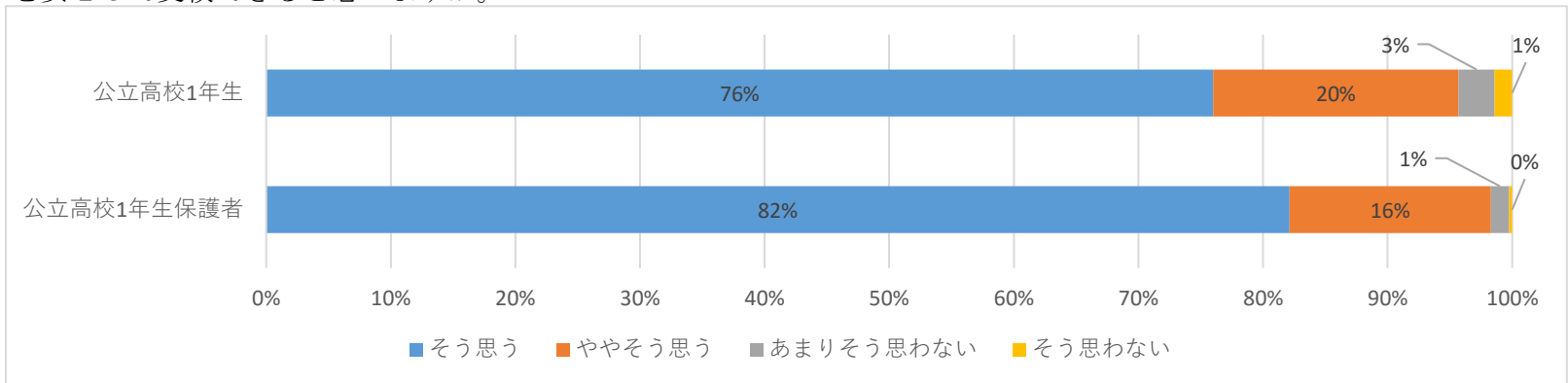
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	35	44	33	16
公立中学校長	113	119	33	6

20 追検査を受けられる条件は適当だと思いますか。



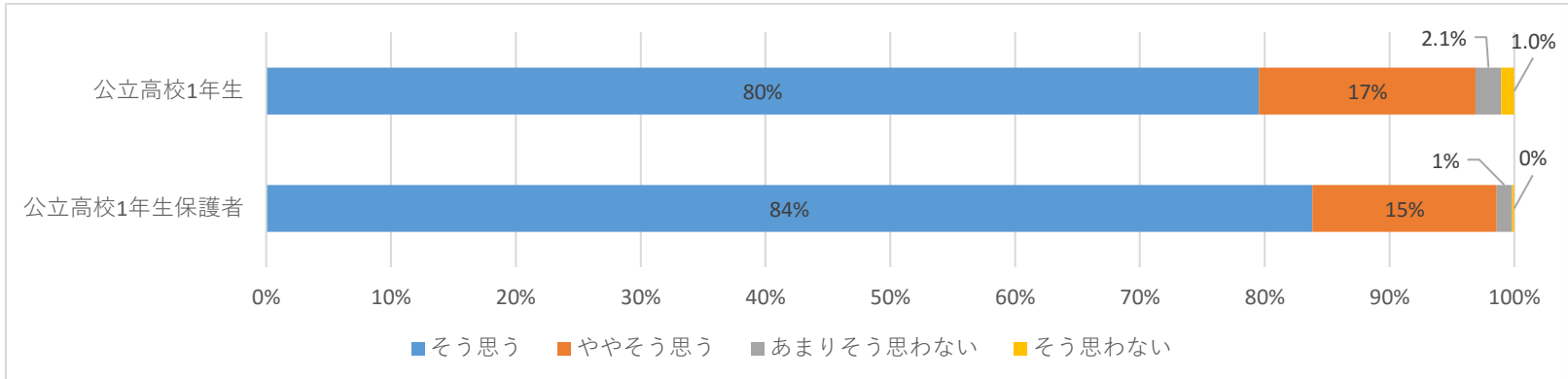
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立中学校長	158	100	14	0

21 インフルエンザ罹患等により、本検査が受けられなかった者を対象に、「追検査」があることで本検査を安心して受検できると思いますか。



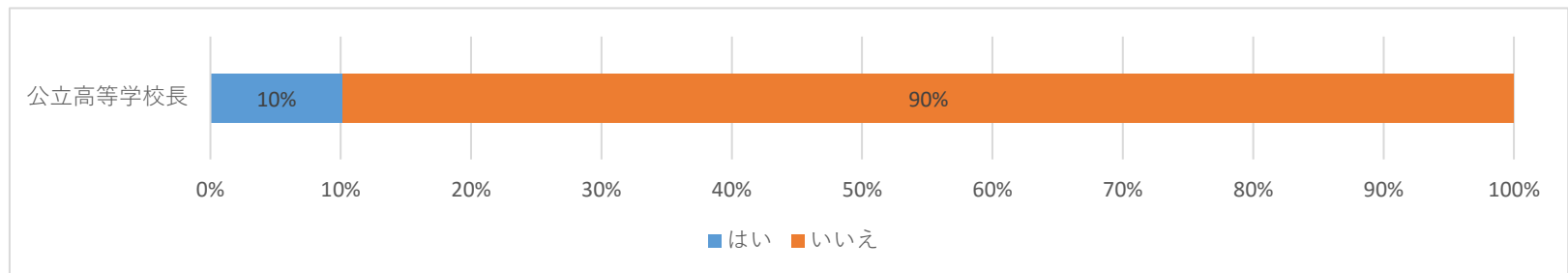
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高校1年生	2863	742	109	53
公立高校1年生保護者	2146	422	39	6

22 当日の体調不良を対象とした保健室受検や、けが等を理由とした別室受検があることで、本検査を安心して受検できると思いますか。



	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高校1年生	3000	655	78	39
公立高校1年生保護者	2189	385	32	5

24 選抜方法について、2段階選抜を使用しましたか。

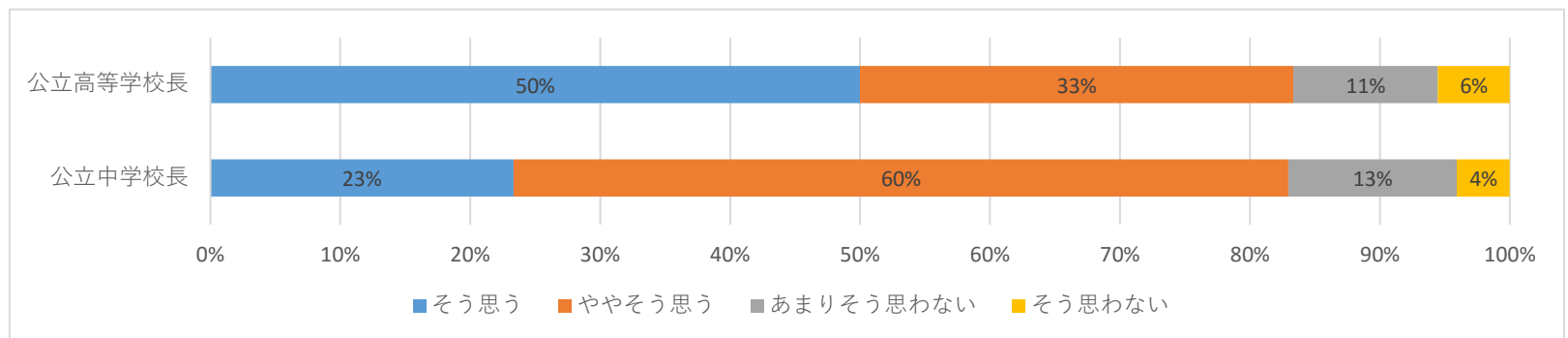


	はい	いいえ
公立高等学校長	13	115

24-2 2段階選抜を使用しなかった理由は。(24で「いいえ」と回答した校長対象)

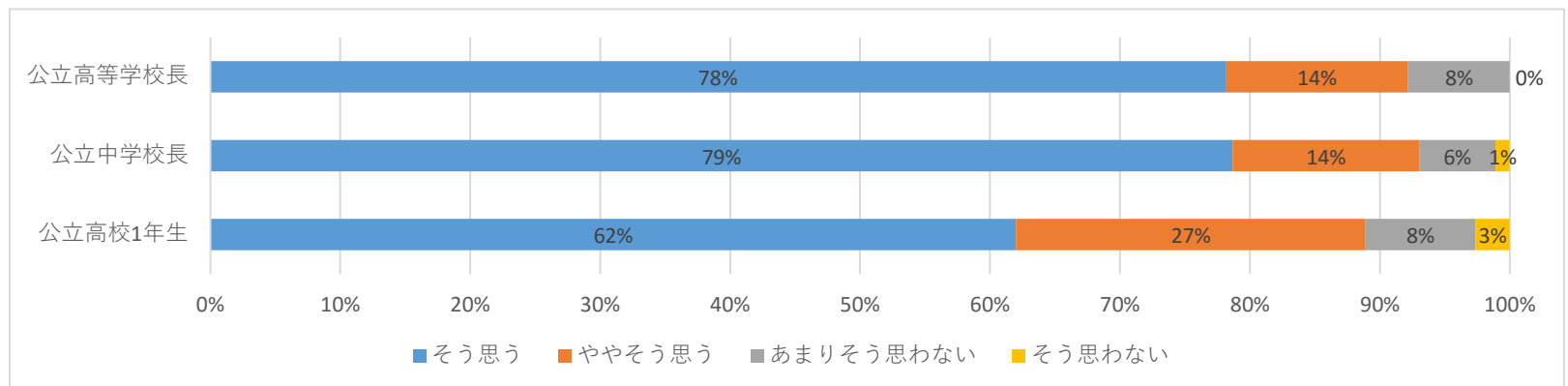
公立高等学校長	主な理由
使用しなかった	必要ないため
	志願者が少ないため
	公平公正な選抜のため

25 選抜方法について、2段階選抜の制度は適当であると思いますか。
(公立高等学校長は24で「はい」と回答した校長、公立中学校長は全員が対象)



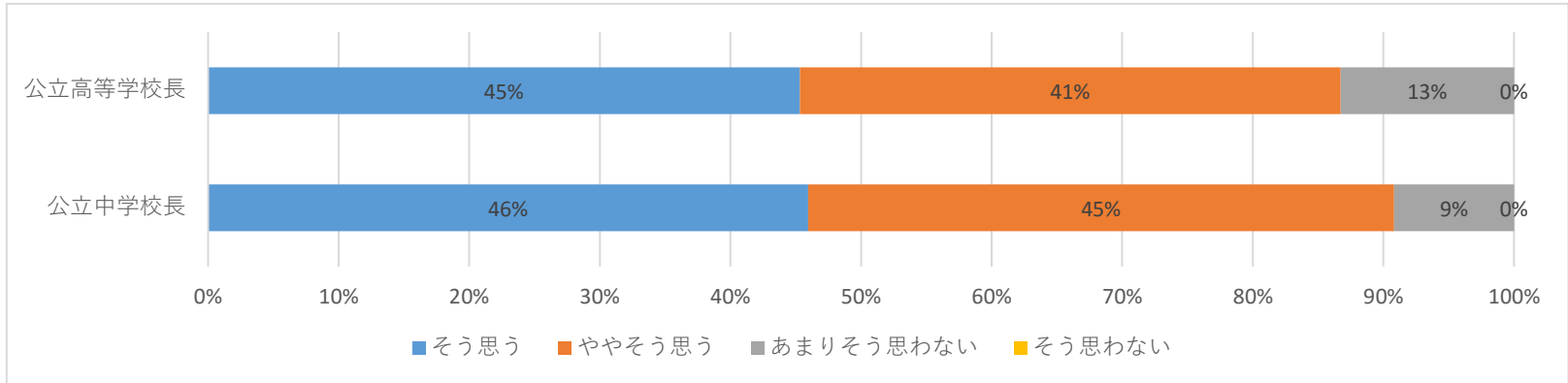
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	9	6	2	1
公立中学校長	63	161	35	11

26 新型コロナウイルス感染防止に関わらず、「郵送出願」を認めるべきだと思いますか。



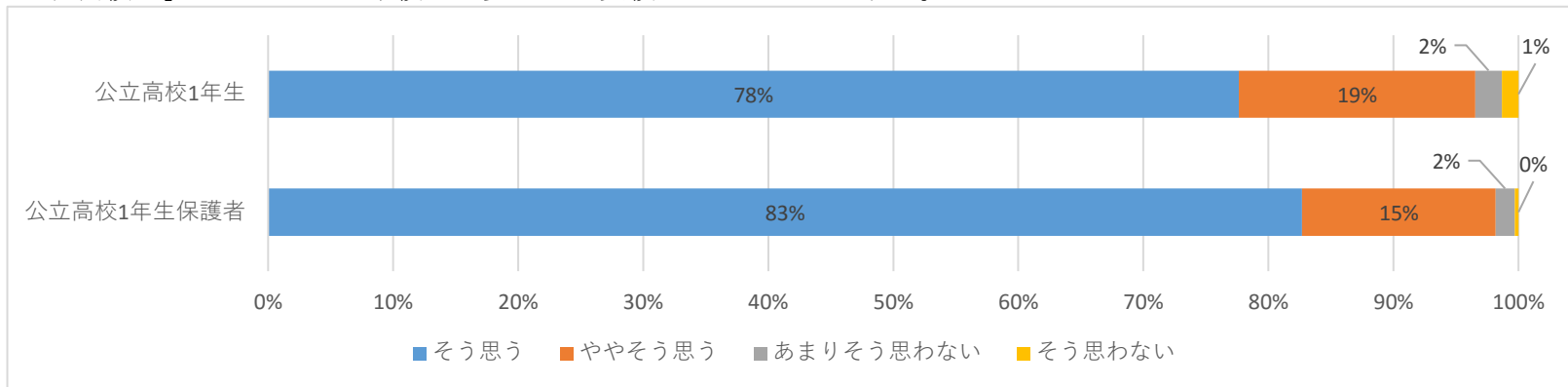
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	100	18	10	0
公立中学校長	214	39	16	3
公立高校1年生	2339	1015	319	100

27 新型コロナウイルス感染症対策について県の対応は、十分だったと思いますか。



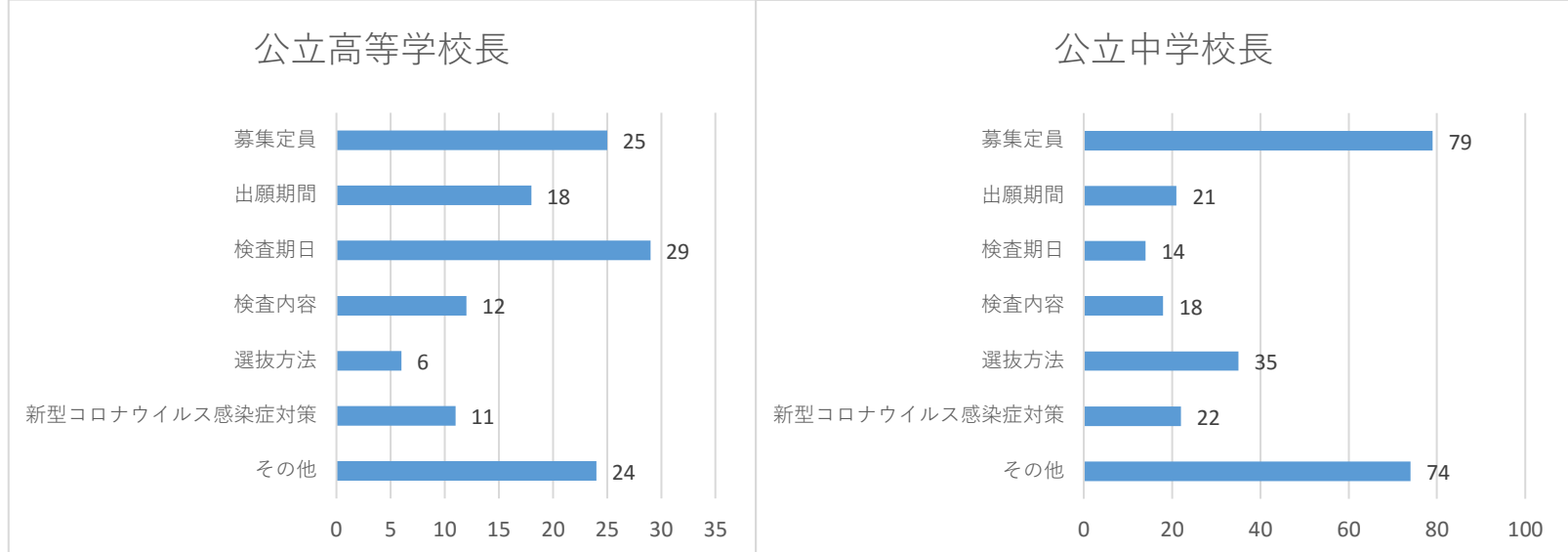
	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高等学校長	58	53	17	0
公立中学校長	125	122	25	0

28 新型コロナコロナウイルス感染症の罹患等により、「本検査」及び「追検査」を受けられなかった者を対象に、「特例検査」があることで本検査を安心して受検できると思いますか。



	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
公立高校1年生	2923	712	80	50
公立高校1年生保護者	2160	404	40	8

29 新しい選抜で改善が必要と思うものは何ですか。



	公立高等学校長	公立中学校長
募集定員	25	79
出願期間	18	21
検査期日	29	14
検査内容	12	18
選抜方法	6	35
新型コロナウイルス感染症対策	11	22
その他	24	74

令和 5 年度千葉県県立高等学校入学者選抜の日程

- 1 一般入学者選抜、特別入学者選抜、地域連携アクティブスクールの入学者選抜及び通信制の課程の一期入学者選抜の日程
 - (1) 入学願書等提出期間
令和 5 年 2 月 8 日（水）、2 月 9 日（木）及び 2 月 10 日（金）
 - (2) 志願又は希望の変更受付期間
令和 5 年 2 月 15 日（水）及び 2 月 16 日（木）
 - (3) 学力検査等の期日
令和 5 年 2 月 21 日（火）及び 2 月 22 日（水）
※海外帰国生徒の特別入学者選抜、外国人の特別入学者選抜、中国等帰国生徒の特別入学者選抜、成人の特別入学者選抜、通信制の課程の一期入学者選抜及び定時制の課程で学力検査を 3 教科で実施する一部の高等学校の検査は、令和 5 年 2 月 21 日（火）のみ実施
 - (4) 追検査受付期間
令和 5 年 2 月 24 日（金）及び 2 月 27 日（月）
 - (5) 追検査の期日
令和 5 年 3 月 1 日（水）
 - (6) 入学許可候補者発表の期日
令和 5 年 3 月 3 日（金）
- 2 第 2 次募集（地域連携アクティブスクールを含む。）及び通信制の課程の二期入学者選抜の日程
 - (1) 入学願書等提出期日
令和 5 年 3 月 8 日（水）
 - (2) 志願又は希望の変更受付期日
令和 5 年 3 月 9 日（木）
 - (3) 検査の期日
令和 5 年 3 月 13 日（月）
 - (4) 入学許可候補者発表の期日
令和 5 年 3 月 15 日（水）
- 3 定時制の課程の追加募集の日程
検査期日の範囲 令和 5 年 3 月 27 日（月）及び令和 5 年 3 月 28 日（火）
- 4 通信制の課程の三期入学者選抜の日程
 - (1) 入学願書等提出期間
令和 5 年 4 月 4 日（火）及び 4 月 5 日（水）
 - (2) 検査の期日
令和 5 年 4 月 10 日（月）
 - (3) 入学許可候補者発表の期日
令和 5 年 4 月 12 日（水）

5 秋季入学者選抜の日程

(1) 入学願書等提出期間

令和5年8月21日(月)及び8月22日(火)

(2) 検査の期日

令和5年8月24日(木)

(3) 入学許可候補者発表の期日

令和5年8月28日(月)

6 通信制の課程の四期(秋季)入学者選抜の日程

(1) 入学願書等提出期間

令和5年8月31日(木)及び9月1日(金)

(2) 検査の期日

令和5年9月6日(水)

(3) 入学許可候補者発表の期日

令和5年9月8日(金)

令和4年度千葉県県立高等学校入学者選抜の選抜方法について

1 選抜のための資料(下記の他、志願理由書、自己申告書など提出)

学力検査	調査書		学校設定検査
国・数・英・理・社 100点×5	評定の全学年 の合計値 135点	記載事項の加点 学校ごとに設定	面接、集団討論、自己表現、 作文、小論文、適性検査、 学校独自問題、その他の検査

(1) 学力検査の成績

教科	普通科	専門学科
国語	100点	
数学	100点	理数 100点×1又は1.5又は2
英語	100点	国際関係 100点×1又は1.5又は2
理科	100点	理数 100点×1又は1.5又は2
社会	100点	
合計	500点	

(2) 調査書

評定の全学年の合計値	135点	135点×(0.5~2)
記載事項の加点	英検、ボランティア 県大会出場 など	0~50点

(3) 学校設定検査 <各検査10点~100点まで>

面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、学校独自問題、その他の検査	1検査 100点まで 2検査以上 合計 150点まで
適性検査(専門学科のみ)	1検査 100点まで 2検査以上 合計 150点まで
面接を加える場合	面接 50点まで
その他の検査として、 思考力を問う問題 (県作成 60分)	100点

2 選抜方法

どのような生徒を育てたいか
どのような教育を行うか
どのような生徒を求めるのか
どのような選抜が必要か



学力検査	各配点(満点)の決定
調査書の評定の全学年の合計値	
調査書の記載事項の評価項目	
学校設定検査の項目	



- ・原則として、選抜のための各資料の得点を合計した「総得点」に基づき、総合的に判定して選抜を行うものとする。
- ・「審議の対象とする」評価を有する者については、特に慎重に審議して総合的に判定する。

学 力 検 査 500点 (一部専門学科の 傾斜配点あり)	調 査 書 評 定 値 135点×K (K:0.5~2の数値)	調 査 書 記 載 事 項 の 加 点 0~50点	学 校 設 定 検 査 1検査:10点~100点 (2検査以上は合計が150点まで、 適性検査×2+面接⇒面接は50点まで)
--	---	--	---

○2段階の選抜を行う場合

1 段 階 目	学 力 検 査	調 査 書 評 定 値	調 査 書 記 載 事 項	学 校 設 定 検 査
------------------	------------------	----------------------------	---------------------------------	----------------------------

2 段 階 目	学 力 検 査	調 査 書 評 定 値	調 査 書 記 載 事 項	学 校 設 定 検 査
		(1段階目の配点)×k1	(1段階目の配点)×k2	(1段階目の配点)×k3

20%
以下

(k1、k2、k3は1以上)

記載例・一般入学者選抜

1 期待する生徒像

【注】 実施要項に掲載されたものと同じものを記載する。

(例 1)

次のいずれかに該当する生徒

ア ……

イ ……

(例 2)

次の全てを満たす生徒

ア ……

イ ……

2 選抜資料

【注】 選抜のために用いる資料を具体的に示すこと。次の(1)～(4)の選抜資料について、該当しないものは削除し、番号は詰める。

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
①面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分
②自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 イ 実技による自己表現 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 次の実技のうち1つを選択 野球（男）・ソフトボール（女）・バレーボール（男女）・ 陸上（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・ 柔道（男女）・吹奏楽（男女）・美術（男女）・合唱（男女） 検査時間：20分
③作文	字数：500字以上600字以内 検査時間：50分
④小論文	字数：400字以上600字以内 検査時間：50分
⑤適性検査	志願する学科の学習に必要な適性をみる検査 検査時間：50分
⑥学校独自問題による検査	3教科（国語・数学・英語の各教科30分）の基礎問題
⑦その他の検査	県が作成する思考力を問う問題の得点
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

【注】 各選抜資料の評価項目及び評価基準を具体的に示すこと。次の(1)～(4)の選抜資料について、該当しないものは削除し、番号は詰める。

原則として、選抜資料は全て数値（得点）化し、各項目について満点を必ず示すこと。

学校設定検査については、検査全体としての総合評価（いわゆる「A」「B」「C」）ではなく、より細かく評価項目ごとに数値（得点）化すること。記載例を参考に、これに準じて記載すること。

また、「オ 総合所見」は「加点する」ではなく「参考とする」とする。

なお、(4)の「志願理由書」については、必ずしも数値（得点）化する必要はない。

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	20点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

記載例・一般入学者選抜

(2) 調査書【〇〇点満点】

※ア 評定の全学年の合計値（満点は135）に学校の特色に応じ、0.5以上2以下の数値（K）を乗じることができるものとする。（原則は、 $K=1$ とする。）

※イ 出欠の記録において、原則として「皆勤」は加点の対象としないものとする。

※ウ 行動の記録において、〇についての加点はしない。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については50点を上限として加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査【〇〇点満点】

※ 学校設定検査の上限は、検査を1つ実施する場合は100点、2つ以上実施する場合、150点とする。なお、専門学科で適性検査を2つ以上実施し、さらに面接を行う場合、面接の配点は50点を上限とし、合計点は200点を超えないこと。

①面接【〇〇点満点】

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 面接に臨む態度	面接に臨む態度が適切である。 基本的な面接作法が身に付いている。

②自己表現【〇〇点満点】【注】 当日行う検査の内容は、事前に示さない。

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを2点とし、2名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。
(イ) テーマ・内容	発表テーマの設定が適切である。 発表内容が整理されており、まとまっている。 発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。
(ウ) スピーチの技能	発表におけるスピーチの基礎的スキルを身に付けている。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

記載例・一般入学者選抜

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(イ) 基礎的技能	当該種目における基礎的技能を身に付けている。
(ウ) 専門的技能	当該種目における専門的技能を身に付けている。

③作文〔〇〇点満点〕【注】 作文のテーマ等は、事前に示さない。

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを25点、bを10点、cを5点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

④小論文〔〇〇点満点〕【注】 小論文のテーマ等は、事前に示さない。

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを25点、bを10点、cを5点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し、得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 全体としてのまとまりがある。
イ 内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。 誤字や脱字がない。文法を正しく用いている。

⑤適性検査〔〇〇点満点〕【注】 課題等の内容は、事前に示さない。

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、それぞれの評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを2点とし、2名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 意欲・態度	課題の製作に積極的・意欲的に取り組んでいる。
イ 手順・方法	課題の製作の手順や方法を正しく行うことができる。
ウ 課題の完成度	課題が正確に製作されており、完成度が高い。

⑥学校独自問題による検査〔〇〇点満点〕

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科の合計100点満点で評価する。

⑦その他の検査〔〇〇点満点〕【注】 検査の具体的内容は、事前に示さない。

※ 県が作成する思考力を問う問題を、各学校の状況により、その他の検査として実施できる。

思考力を問う問題の検査時間は60分とし、検査の配点は100点とする。

評価項目	評価基準
具体的に記載	具体的に記載

記載例・一般入学者選抜

(4) 志願理由書 【注】 必ずしも数値（得点）化する必要はない。

評価項目	評価基準
ア 志願理由	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。
イ 自己アピール	特に優れた内容等を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法 【注】 順位付けの方法を明確に記載する。

また、総得点の満点の内訳を示した表を必ず記載する。

「1段階」で選抜を行う場合

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（※具体的検査名を記載）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

(例1) 調査書の加点をしない+学校設定検査が1つの場合

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評価	加点	自己表現	
500点	135点	50点	100点	735点

(例2) 調査書の加点+学校設定検査が1つの場合

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評価	加点	自己表現	
500点	135点	50点	100点	785点

(例3) 調査書の加点+学校設定検査が2つの場合

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点		総得点
	評価	加点	作文	自己表現	
500点	135点	50点	50点	100点	835点

(2) その他 【注】 自己申告書は、数値（得点）化しない。

また、隣接県協定については、該当学区内の学校のみ記載する。

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他 【注】 学校設定検査で「面接」を実施する学校は、過年度卒業者に対して、二重に「面接」を行わず、行う場合は、「面談」とする。特に記載する内容がない場合には、この項目を削除する。

・学校設定検査で「面接」を実施する学校

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

・学校設定検査で「面接」を実施しない学校

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。

【具体例1】「1段階」で選抜を行う例

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 ■■

千葉県立■■■■高等学校 ■■制の課程 ■■科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

ア 基本的な生活習慣が身につけており、高校生活に真面目に取り組むことができる生徒

イ 本校への志望の動機が明確であり、学習活動・部活動・学校行事等に積極的に取り組む生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の2つの検査の結果
ア 面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間：1グループ15分
イ 自己表現	次の(ア)、(イ)のいずれかを、出願時に志願者が選択 (ア) 口頭による自己表現 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 (イ) 実技による自己表現 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 次の実技のうち1つを選択 野球（男）・ソフトボール（女）・バレーボール（男女）・ 陸上（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・ 柔道（男女）・吹奏楽（男女）・美術（男女）・合唱（男女） 検査時間：20分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限50点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔40点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを5点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 面接に臨む態度	面接に臨む態度が適切である。 基本的な面接作法が身に付いている。

(4) 自己表現〔60点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～c c）で得点化する。c cの評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。
(イ) テーマ・内容	発表テーマの設定が適切である。 発表内容が整理されており、まとまっている。 発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。
(ウ) スピーチの能力	発表におけるスピーチの基礎的スキルを身に付けている。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(イ) 基礎的スキル	当該種目における基礎的スキルを身に付けている。
(ウ) 専門的スキル	当該種目における専門的スキルを身に付けている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接・自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点		総得点
	評定（K=1）	加点	面接	自己表現	
500点	135点	50点	40点	60点	785点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談（個人面接）を行う。

【具体例2】「2段階」で選抜を行う例

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 ■■

千葉県立■■■■高等学校 ■■制の課程 ■■科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

ア 学習成績が優秀であり、本校入学後も、向上心を持って学習活動に主体的に参加する強い意志がある生徒

イ 人物が優れており、本校を志望する動機が明確であり、生徒会活動や部活動等に積極的に取り組む意欲がある生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 イ 実技による自己表現 実施形態：個人で発表（ただし、団体種目は、複数人数で実施） 次の実技のうち1つを選択 野球（男）・ソフトボール（女）・バレーボール（男女）・ 陸上（男女）・バスケットボール（男女）・剣道（男女）・ 柔道（男女）・吹奏楽（男女）・美術（男女）・合唱（男女） 検査時間：20分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔160点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限25点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。評定1又は未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3か年で30日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点（上限25点）する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（自己表現）〔50点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。cccの評価の組合せがある場合は、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。 発表における態度が適切である。
(イ) テーマ・内容	発表テーマの設定が適切である。 発表内容が整理されており、まとまっている。 発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。
(ウ) スピーチの能力	発表におけるスピーチの基礎的スキルを身に付けている。 表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 意欲・態度	当該種目に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(イ) 基礎的スキル	当該種目における基礎的スキルを身に付けている。
(ウ) 専門的スキル	当該種目における専門的スキルを身に付けている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、次のパーセントまでを入学許可候補者とする。

(ア) 受検者数が募集人員以内のときは、受検者数の80パーセント

(イ) 受検者数が募集人員を超えるときは、募集人員の80パーセント

<ア：総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1)	加点	自己表現	
500点	135点	25点	50点	710点

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の得点」に、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」に本校の定める係数（ $k_1=2$ 、 $k_2=2$ 、 $k_3=2$ ）を乗じて算出した得点を加えた「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<イ：総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1、 $k_1=2$)	加点($k_2=2$)	自己表現($k_3=2$)	
500点	270点	50点	100点	920点

※ k_1 ：アの「調査書の各教科の評定の全学年の合計値にKを乗じた数値」に乗じる係数

※ k_2 ：アの「調査書の記載事項の加点」に乗じる係数

※ k_3 ：アの「学校設定検査の得点」に乗じる係数

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接（個人面談）を行う。

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程(第1回配付案の修正)

令和4年度選抜 (実施済)		令和5年度選抜 (発表済)		令和6年度選抜 (A案)		令和6年度選抜 (B案)		令和6年度選抜 (C案)	
1	火	1	水	1	木	1	木	1	木
2	水	2	木	2	金	2	金	2	金
3	木	3	金	3	土	3	土	3	土
4	金	4	土	4	日	4	日	4	日
5	土	5	日	5	月	5	月	5	月 出願受付
6	日	6	月	6	火	6	火 出願受付	6	火 出願受付
7	月	7	火	7	水 出願受付	7	水 出願受付	7	水 出願受付
8	火	8	水 出願受付	8	木 出願受付	8	木 出願受付	8	木 ①
9	水 出願受付	9	木 出願受付	9	金 出願受付	9	金 ①	9	金 ②
10	木 出願受付	10	金 出願受付	10	土	10	土	10	土
11	金 建国記念の日	11	土 建国記念の日	11	日 建国記念の日	11	日 建国記念の日	11	日 建国記念の日
12	土	12	日	12	月	12	月	12	月
13	日	13	月 ①	13	火 ①	13	火 ②	13	火 志願・希望変更
14	月 出願受付	14	火 ②	14	水 ②	14	水 志願・希望変更	14	水 志願・希望変更
15	火 ①	15	水 志願・希望変更	15	木 志願・希望変更	15	木 志願・希望変更	15	木 ①
16	水 ②	16	木 志願・希望変更	16	金 志願・希望変更	16	金 ①	16	金 ②
17	木 志願・希望変更	17	金 ①	17	土	17	土	17	土
18	金 志願・希望変更	18	土	18	日	18	日	18	日
19	土	19	日	19	月 ①	19	月 ②	19	月 本検査
20	日	20	月 ②	20	火 ②	20	火 本検査	20	火 本検査
21	月 ①	21	火 本検査	21	水 本検査	21	水 本検査	21	水 追検査受付
22	火 ②	22	水 本検査	22	木 本検査	22	木 追検査受付	22	木 追検査受付
23	水 天皇誕生日	23	木 天皇誕生日	23	金 天皇誕生日	23	金 天皇誕生日	23	金 天皇誕生日
24	木 本検査	24	金 追検査受付	24	土	24	土	24	土
25	金 本検査	25	土	25	日	25	日	25	日
26	土	26	日	26	月 追検査受付	26	月 追検査受付	26	月 ①
27	日	27	月 追検査受付	27	火 追検査受付	27	火 ①	27	火 追検査
28	月 追検査受付	28	火 ①	28	水 ①	28	水 追検査	28	水 ①
1	火 追検査受付	1	水 追検査	29	木 追検査	29	木 ①	29	木 発表
2	水 ①	2	木 ①	1	金 ①	1	金 発表	1	金 ①
3	木 追検査	3	金 発表	2	土	2	土	2	土
4	金 ①	4	土	3	日	3	日	3	日
5	土	5	日	4	月 発表	4	月 ①	4	月 ②
6	日	6	月 ①	5	火 ①	5	火 ②	5	火 2次受付
7	月 発表	7	火 ②	6	水 ②	6	水 2次受付	6	水 2次志願変更
8	火 ①	8	水 2次受付	7	木 2次受付	7	木 2次志願変更	7	木 ①
9	水 ②	9	木 2次志願変更	8	金 2次志願変更	8	金 ①	8	金 2次検査
10	木 2次受付	10	金 ①	9	土	9	土	9	土
11	金 2次志願変更	11	土	10	日	10	日	10	日
12	土	12	日	11	月 ①	11	月 2次検査	11	月 ①
13	日	13	月 2次検査	12	火 2次検査	12	火 ①	12	火 2次発表
14	月 ①	14	火 ①	13	水 ①	13	水 2次発表	13	水
15	火 2次検査	15	水 2次発表	14	木 2次発表	14	木	14	木
16	水 ①	16	木	15	金	15	金	15	金
17	木 2次発表	17	金	16	土	16	土	16	土
18	金	18	土	17	日	17	日	17	日
19	土	19	日	18	月	18	月	18	月
20	日	20	月	19	火	19	火	19	火
21	月 春分の日	21	日 春分の日	20	水 春分の日	20	水 春分の日	20	水 春分の日
22	火	22	水	21	木	21	木	21	木
23	水	23	木	22	金 終業式	22	金 終業式	22	金 終業式
24	木	24	金 終業式	23	土	23	土	23	土
25	金 追加募集	25	土	24	日	24	日	24	日
26	土	26	日	25	月	25	月	25	月
27	日	27	月 追加募集	26	火 追加募集	26	火 追加募集	26	火 追加募集
28	月 追加募集	28	火 追加募集	27	水 追加募集	27	水 追加募集	27	水 追加募集
29	火	29	水	28	木	28	木	28	木
30	水	30	木	29	金	29	金	29	金
31	木	31	金	30	土	30	土	30	土
				31	日	31	日	31	日